



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第13号

(10月15日～10月28日)

平成28年10月14日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部



ふじの熟度は平年並み！

収穫は、有袋果が10月30日頃、無袋果が11月4日頃から！！

果実疫病の発生に注意!!!

強風対策は万全に!!!!

I 要 約

10月13日現在、ふじの熟度の進みは有袋果、無袋果ともに平年並みであることから、収穫始めは、黒石中心で有袋ふじが10月30日頃、無袋ふじが11月4日頃と見込まれる。

本年は雨が多いため、果実疫病の発生が懸念される。果実疫病を発生させないため、反射シートを片づける際に土を飛散させない。また、収穫は降雨時に行わず、収穫果は長く野積みしない。

本年は台風の接近が多いので、今後も引き続き、台風や低気圧による強風被害に備え、風害防止対策に万全を期す。

Ⅱ りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

10月11日現在、果実肥大は地域によりバラツキがみられ、ジョナゴールド、ふじともに平年比98～106%となっている。

果実肥大 (10月11日現在、横径：cm、平年比：%)

地 域	年	ジョナゴールド	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	/	8.5
	平 年		8.6
	前 年		8.8
	平年比		99
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	9.4	8.4
	平 年	9.0	8.6
	前 年	9.6	8.8
	平年比	104	98
板柳町高増 (西北地域県民局)	本 年	9.9	9.0
	平 年	9.3	8.5
	前 年	10.4	8.9
	平年比	106	105
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.8	8.5
	平 年	9.0	8.4
	前 年	9.0	8.8
	平年比	98	101

※各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

(2) 果実熟度

10月13日現在、有袋ふじは、平年値と比較して、硬度及び糖度はやや高く、ヨード反応指数は同程度、酸度及び着色指数は低い。

無袋ふじは、平年値と比較して、硬度及び糖度は同程度、ヨード反応指数及び着色指数はやや低く、酸度は低い。蜜入りは平年より遅れている。

総合的にみて、熟度の進みは有袋果及び無袋果とも平年並みと見込まれる。

ふじ（有袋）の熟度の進み

(10月13日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程 度
黒 石 (りんご研)	本年	297	1.9	17.3	12.8	0.393	3.0	8	0.1
	平年	302	3.0	16.6	12.5	0.407	3.1	15	0.1
	前年	305	2.6	16.0	12.8	0.340	2.8	8	0.1

注) 1 平年：2003～2015年までの13年平均

2 除袋日：9月20日外袋、23日内袋

ふじ（無袋）の熟度の進み

(10月13日現在)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程 度
黒 石 (りんご研)	本年	308	1.9	16.6	12.9	0.402	3.0	25	0.3
	平年	314	2.2	16.5	12.9	0.414	3.2	50	0.5
	前年	316	2.4	15.2	13.3	0.368	2.8	33	0.3

注) 1 平年：1996～2015年までの20年平均

2 着色指数：0～5 大きい数値ほど着色良好

3 ヨード反応：0～5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

4 蜜入り程度：0～4 大きい数値ほど蜜発生大

(3) 作業の進み (10月12日現在)

一部園地ではシナノスイートやジョナゴールドの収穫が始まっている。

ふじの葉摘みや玉回しが行われている。

2 作業の重点

(1) 中・晩生種の収穫

ア 千雪（あおり27）

収穫始めは、黒石中心で10月19日頃と見込まれる。収穫は、果皮色が濃紅色になった頃で、着色が揃わない場合は2回に分けて行う。

なお、収穫後直ちに冷蔵庫に搬入すると軟性やけが発生しやすいので、収穫後は10℃程度のところに5～7日間保管してから冷蔵庫に搬入する。

千雪（あおり27）の収穫時の標準指標

食味	糖度	ヨード ¹ 反応	硬度
4以上	14%以上	1.5以下	17～19ポ ² ント ²

イ 星の金貨、シナノゴールド

収穫始めは、黒石中心で星の金貨では10月25日頃、シナノゴールドでは10月26日頃と見込まれる。収穫は、食味や「黄色品種青森県標準カラーチャート」、「ハンドチャート」の指標を確認し、適期に行う。

星の金貨は、表面色指数4以上の果実が全体の半量に達したら1回目の収穫を行い、2回目以降の収穫は1週間以内を目処に完了する。一斉収穫の場合は、樹中の平均的な果実の表面色指数が4～5に達した時期に収穫する。なお、表面色指数5以上の果実は、貯蔵中に裂果が発生する恐れがあるので年内販売とする。

シナノゴールドは、表面色指数5の果実が全体の半量に達したら収穫する。

星の金貨の収穫時の標準指標

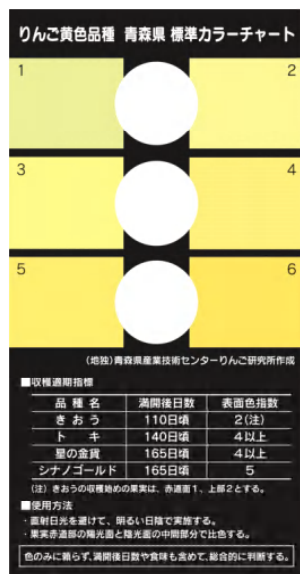
食味	糖度 (%)	ヨード ¹ 反応 (0～5)	硬度 (lbs)	表面色指数 (1～6)
4以上	14%以上	2.5以下	14～16ポ ² ント ²	4以上

シナノゴールドの収穫時の標準指標

食味	糖度 (%)	ヨード ¹ 反応 (0～5)	硬度 (lbs)	表面色指数 (1～6)
3.5以上	14%以上	1.5以下	14～16ポ ² ント ²	5

注) 1 ヨード反応：0～5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

2 表面色指数：「りんご黄色品種 青森県 標準カラーチャート」指数



↑ハンドチャート
←りんご黄色品種 青森県 標準カラーチャート
※お問い合わせ先：公益財団法人青森県りんご協会
電話 0172-27-6006

ウ 王林、ふじ

収穫始めは、熟度の進みから判断して、黒石中心で王林が10月29日頃、ふじの有袋果が10月30日頃、無袋果が11月4日頃と見込まれる。

王林は、収穫が早すぎると貯蔵後にビターピットや貯蔵やけの発生が懸念されるので、適期に収穫する。

ふじは、収穫が早すぎると貯蔵後にビターピットや貯蔵やけの発生が多くなり、収穫が遅くなるとつる割れや蜜褐変、内部褐変の発生が多くなるので、着色や熟度の進みをみながら、適期に収穫する。

王林、ふじの収穫時の標準指標

品 種	食味	糖度	フォード [®] 反応	地色 [※]	蜜入り程度	硬度
王 林	3.5以上	13%以上	2～3	3～4	—	14～16ポ ^ン ト [※]
ふじ有袋	3以上	13%以上	2程度	—	1程度	14～16ポ ^ン ト [※]
無袋	4以上	13.5%以上	2以下	—	2以上	13～16ポ ^ン ト [※]

注) 地色の指数は、濃緑色1～黄色5である。

エ ぐんま名月

収穫始めは、10月31日頃と見込まれる。

過熟果は、果心部に褐変症状がでることがあるので、適期に収穫する。また、年明け以降は、果心褐変や蜜褐変の発生が多くなるので、年内販売とする。

(2) 山選果の徹底

出荷先の選果基準に基づき分別して出荷する。

(3) 晩生種の着色手入れ、樹上選果

ふじの着色手入れは、10月25日頃までに終える。

葉摘みと並行して、果実に十分日光が当たるように、支柱の位置を動かしたり、小枝を縄で吊り上げたり、不要な徒長枝を切り取る。

また、高品質りんご生産のために、肥大や形が悪い果実のほかに、黒星病等の病害虫被害果、日焼けなどが目立つ果実などを摘み取る。

(4) 風害防止対策

台風や低気圧による強風被害に備え、防風網やわい性台樹の結束などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

また、幹や主枝などに空洞が生じている樹や、腐らん病の被害等を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は、倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(5) 黒星病対策

秋季に二次伸長葉に黒星病が発生した場合は、来年の伝染源となるので、見つけ次第摘み取り処分する。

(6) 果実疫病（おそ疫病）対策

ア 収穫直前まで

反射シートを片づける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土は、あらかじめ洗い落としておく。

イ 収穫時

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。

落果や収穫の際に落とした果実は、収穫果に混入させない。

ウ 収穫後

収穫果は、長く野積みしない。

(7) モモシンクイガ被害果の除去

モモシンクイガによる被害果を流通させないために、収穫した果実は、選果時に徹底して選別する。被害果は見つけ次第、7日以上の水漬けなど適切に処置をする。

(8) 炭疽病等被害果の除去

被害果は見つけ次第摘み取り、土中に埋める。

(9) 腐らん病対策

つる折れ、つる抜けしないよう丁寧に収穫する。つるが果台に残った場合は、取り除く。

(10) 野ネズミ対策

野ネズミの繁殖期なので、エサとなるりんごや野菜の残渣等を放置しないようにする。

3 一般作業

(1) 鳥害防止対策

4 今後の作業予定

- (1) 晩生種の収穫 (2) 園内清掃 (3) 腐らん病対策 (収穫後散布)
(4) 野ネズミ・野ウサギの被害防止対策 (5) 堆肥づくり、土壌改良
(6) 雪害防止対策

— 樹上選果推進期間（8月下旬～収穫期） —

美味しいりんごを届けよう！
今年もやります！樹上選果と「すぐりもぎ」！

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合、ラベル等の記載事項を読み、それぞれの農薬に定められている使用回数、使用時期、使用濃度を厳守し、使用状況を記帳する。使用回数については、含まれる成分によって制限されるので、同一成分が含まれる剤の総使用回数を守る。また、使用者の責任で最新の「農薬登録情報」を確認する。

農薬の使用前には、防除器具が洗浄されているかを確認するとともに、使用後は、十分洗浄する。

なお、薬剤の年間使用回数は、収穫後から翌年の収穫までの1年間に使用できる回数である。

《《 お知らせ 》》

県予察ほの「モモシンクイガの発生情報」、「りんご黒星病、斑点落葉病の発生推移」は、アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) の「アップル農場、病虫害情報、りんご・特産果樹の病虫害発生・防除情報」で提供しています。

また、「アップル農場・りんご・生育速報」には「ふじ」の熟度が掲載されています。ご利用ください。

農業機械事故が多発しています！農作業安全を心がけましょう！

地域ぐるみで放任園の発生防止と解消に努めましょう！

次回の「りんご生産情報」第14号は10月28日(金)発表の予定

報道機関用提供資料	
担当課	りんご果樹課
担当者	生産振興グループ 今総括主幹
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 津島農商工連携推進監 内線 4966